

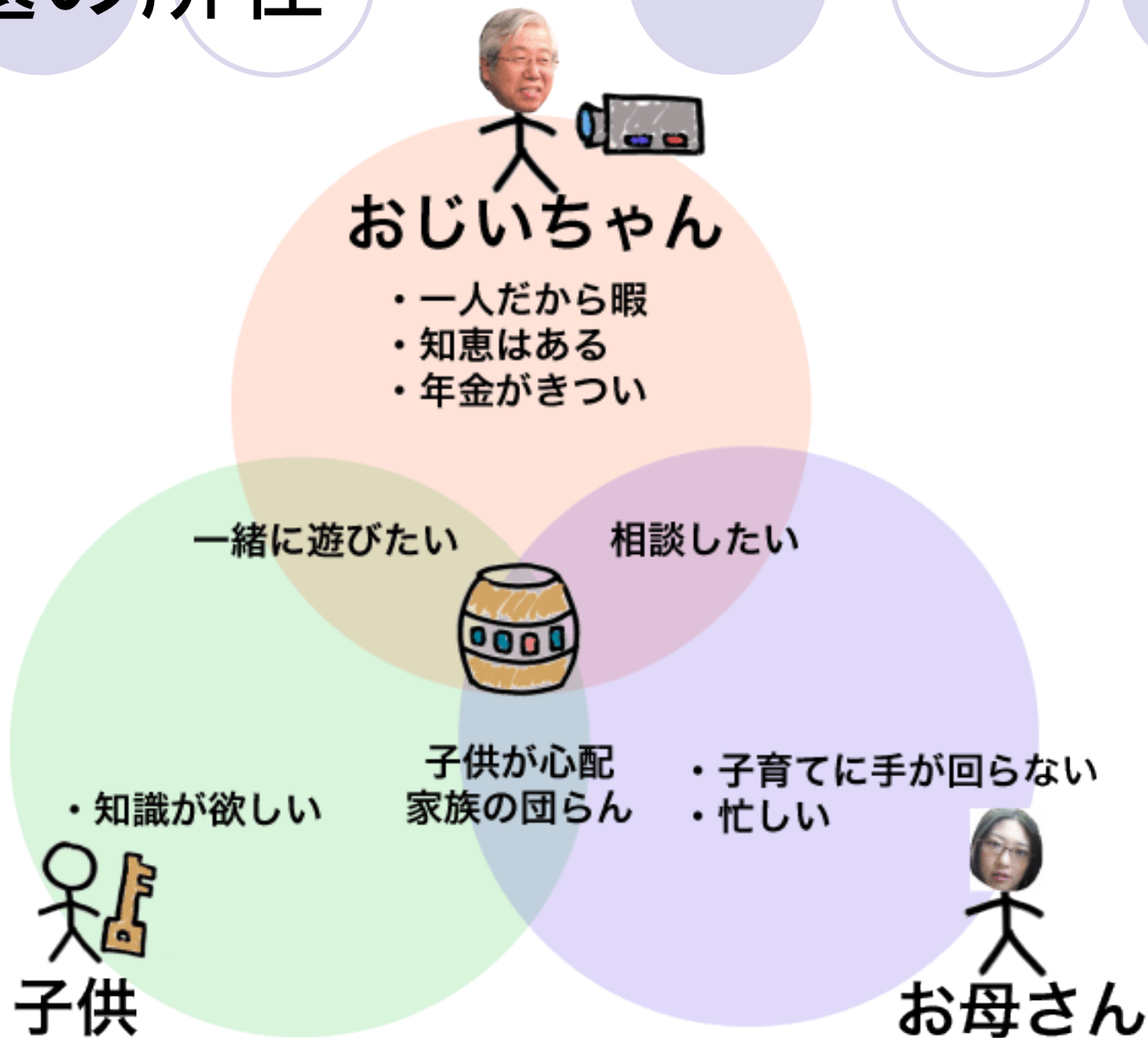
ユビキタスネットワーク戦略論 春学期 2006

秋元慶太 柴田樹 橋本翔 森裕介

松田祐徳 長崎愛 吉田裕正

篠宮洸太 片岡宏輔 鈴木詩野

問題の所在



本件により期待できる成果

- 高齢者（主に年金需給層）が蓄積した知識や経験の有効活用と収入確保
- 親の子育てにおける疑問解決と、子供自身の成長欲求に応えられる環境の構築
- 子供の自主性尊重と、安全のための監視環境の両立
- 知識の獲得

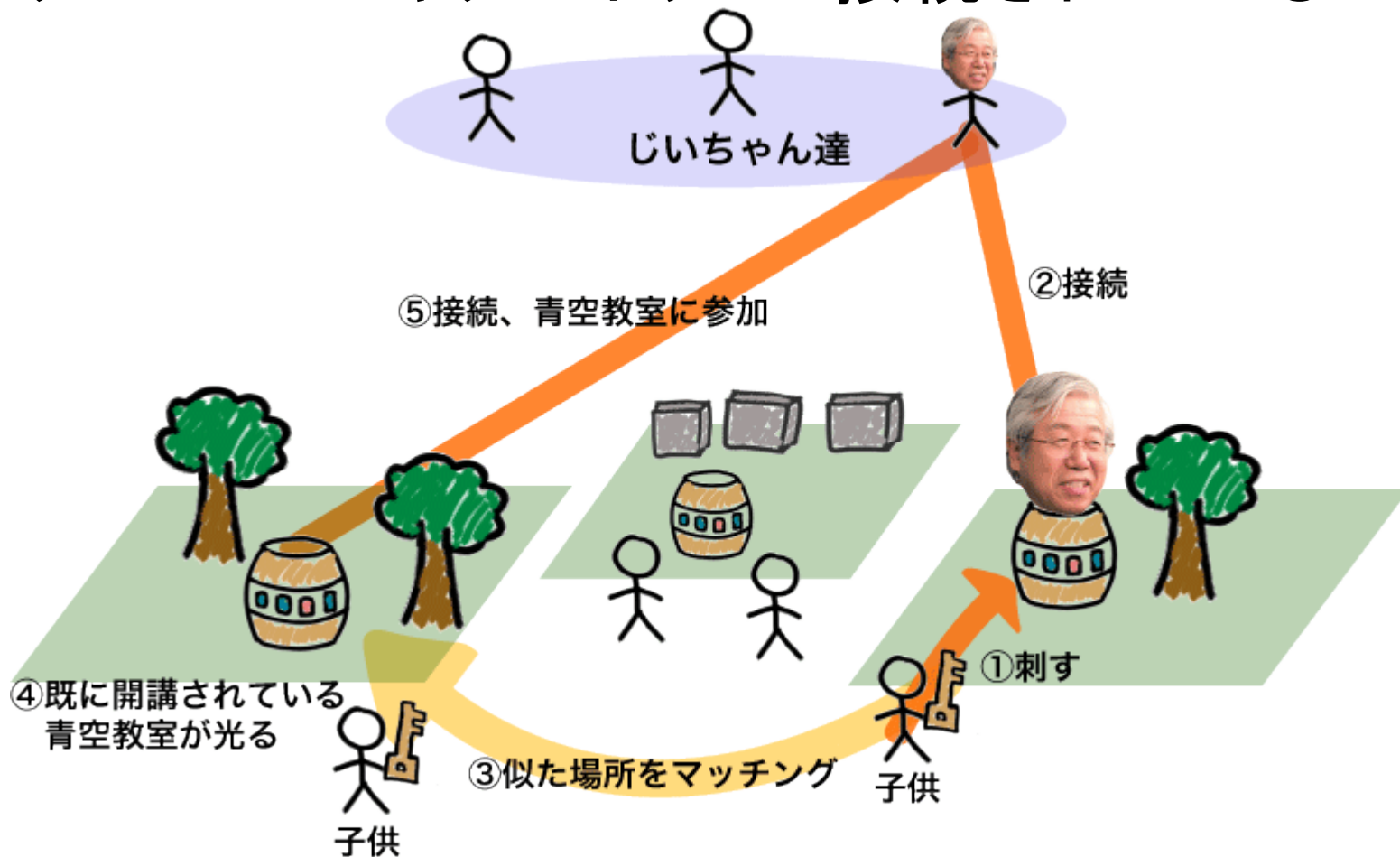
ソリューション名

- ポケットじいちゃん危機一発
- 通称「ポケじい」



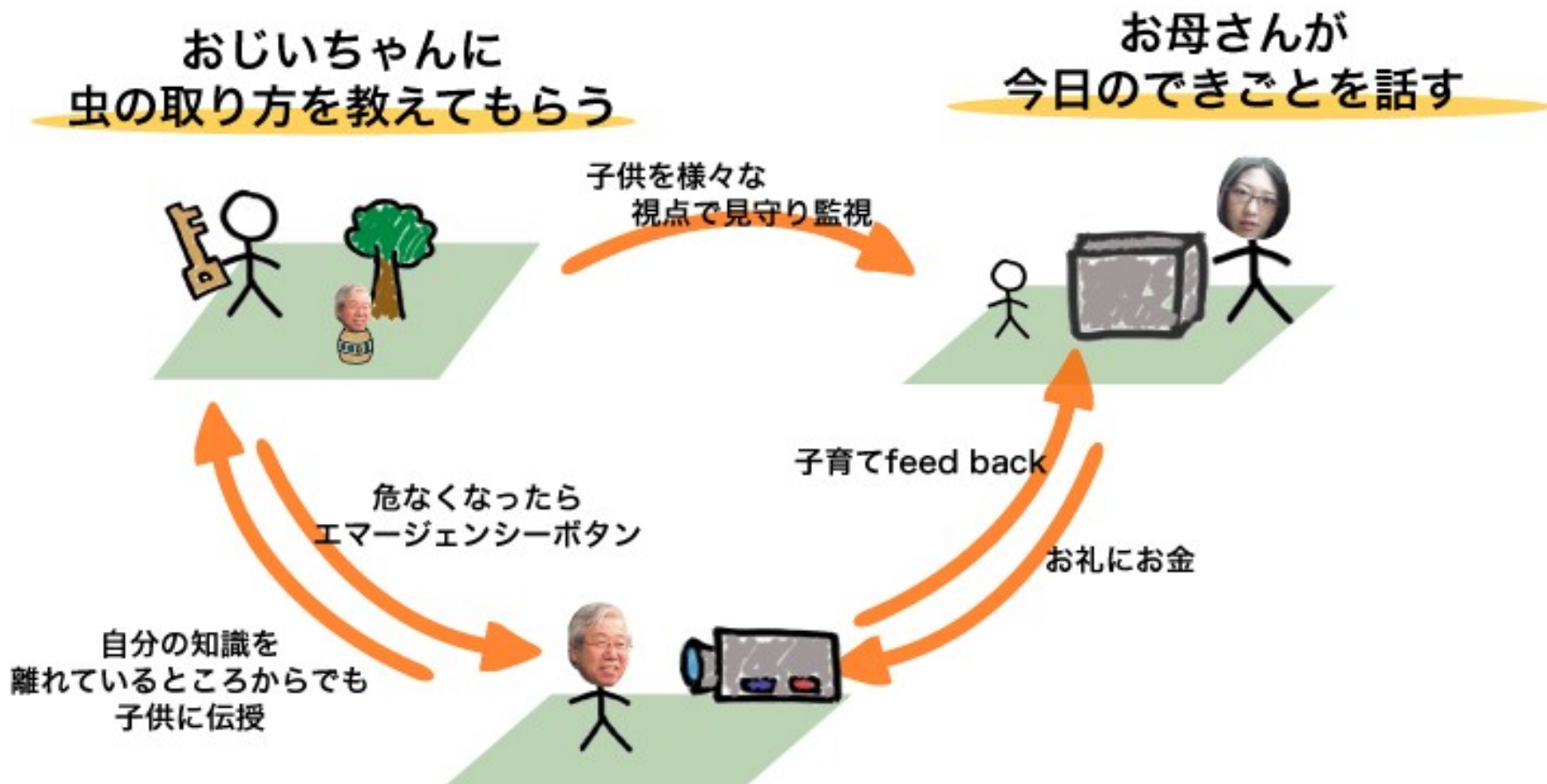
青空教室

- タルはユビキタスネットに接続されている



三世代をつなげる構造

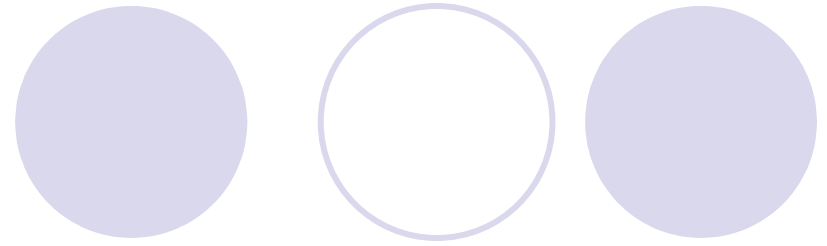
- おじいちゃんを知恵を「現場」で活用！



「知恵」の「品質保証」はしません！

- コミュニケーション重視だから

2010年に向けて



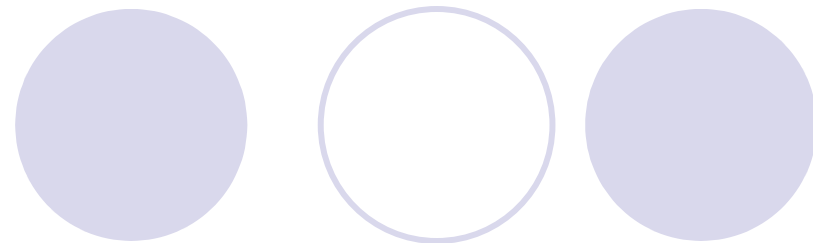
- ICチップの小型化
- 無線通信の普及
- 検索システムの変化
→ 検索ワードがなくても知りたいことを探せる

鍵：提供者、利用者の個人端末

KEY



樽：公共設置端末



T A R U

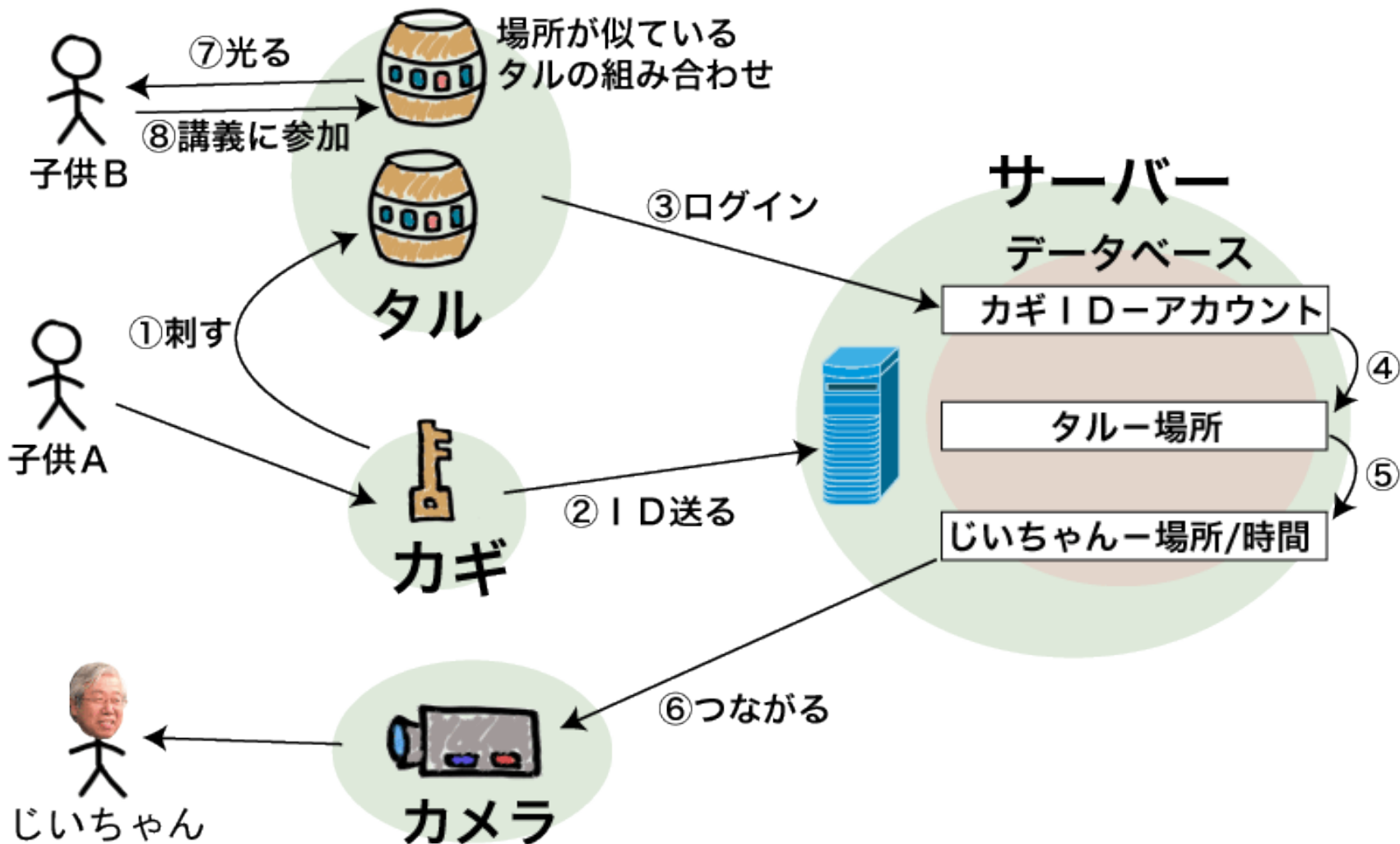
メインキー差込み口
ここにキーを差し込むと
おじいさんが登場する

サブキー差込み口
あとからやってきた子は
ここにキーを差し込む

接続時イメージ

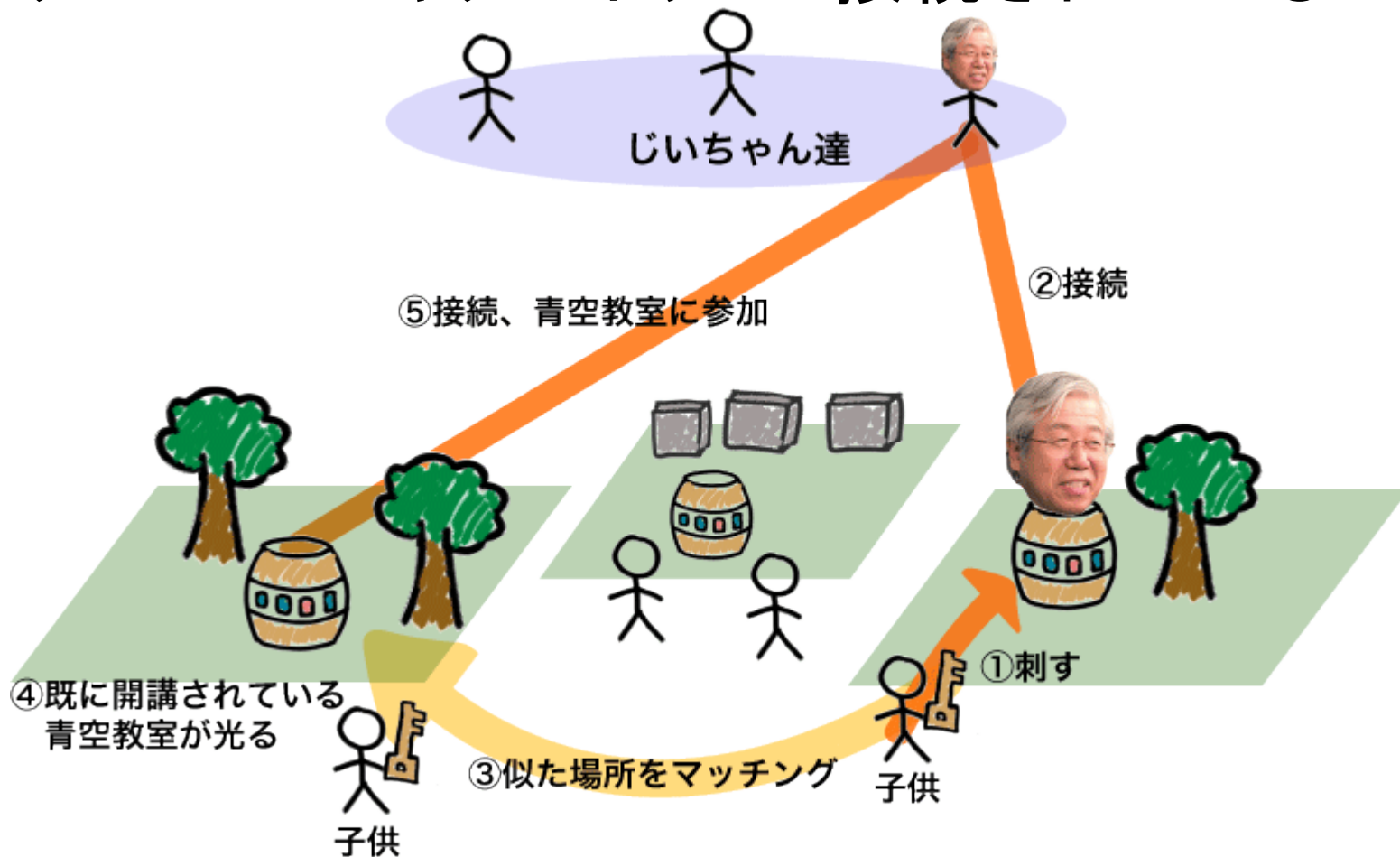


システム全景



青空教室

- タルはユビキタスネットに接続されている



シナリオ～おじいちゃん～

1



おじいちゃんは家で寝たきりだけれども、頭はまだ元気で、ベッドの上で寂しい生活を送ってます

2



そこで、じいちゃん危機一発にアクセスできるカメラを購入しました。

3



関連づけ



おじいちゃんは、虫が大好きだったので、草むらの樽に多く答えるように設定をしました

4



そうすると、藤沢の草むらの樽から呼び出しがかかってきました！

5



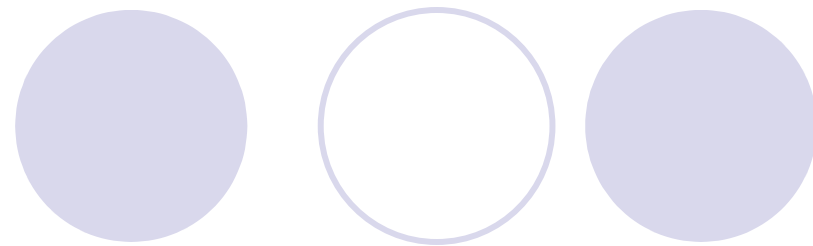
子供は、さっき捕まえた虫のなまえをおじいちゃんにききました。

6



子供は満足して、家にかえりました、そしておじいちゃんにはアフィリエイトが入りました。よかったよかった。

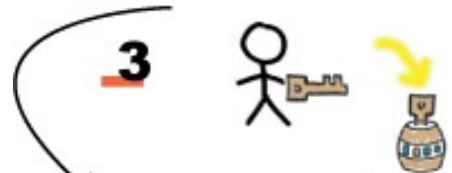
シナリオ～子供～



1
おちあいママは、仕事に出かけています。
子供がしんぱいなので、"鍵"
をあげた。



2
子供は草むらで虫を見つけました。なんの虫
かきになっていると、すぐそばにポケジイ危
機一髪の樽をみつけた！



3
樽をみると、特に光っている穴もないので、
たるのうえに鍵をさしこみました！

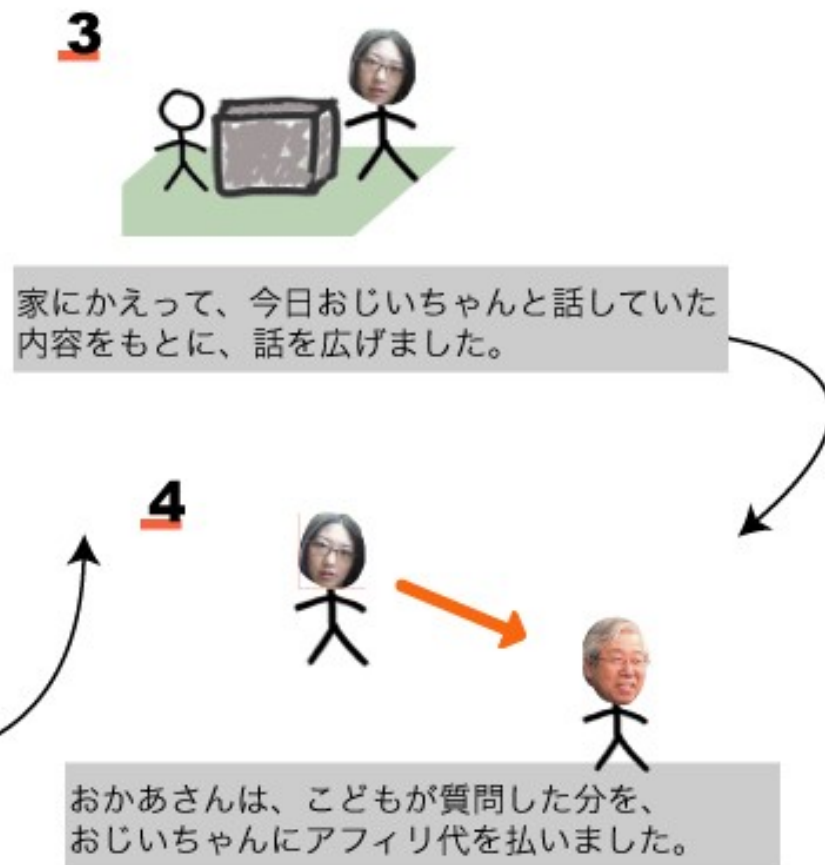
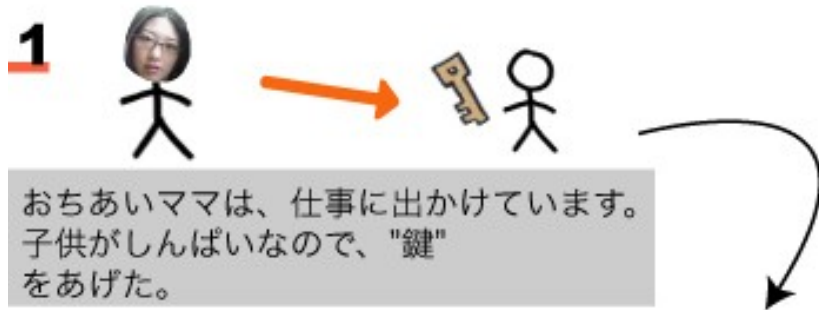


4
すると、鍵におじいちゃんが憑依
してきました！



5
子供は鍵を取り出して、虫を捕ったところ
におじいちゃんを連れて行き、虫の名前を教え
てもらいました。 よかったよかった

シナリオ～親～



特色1: エマージェンシーボタン

- 救急車両や警察官が、老人宅や現場へ駆けつけるシステム
- 子供が危険を感じたとき、近くの樽端末に鍵を挿して助けを求めることが可能

特色2: 鍵端末の特徴

- 付属のカメラで画像が取り込める
→ コミュニケーションの種
 - 登録機能
→ 仲良くなったおじいちゃんとすぐ繋がれる
- 派生案として…
- 専用鍵 (集める楽しさ、対戦)

特色3:新しいお金の循環

- 寝たきりの老人にも雇用機会
- 質問1件につき100円の収入で
1日に10回質問を受け付けたとする…
 労年齢基礎年金は約64000円
 およそ半分程度が稼げる→生活費の足し
- 子供が利用した分、親は後に支払いを自動引き落としで
- ネットワークが安定し、後からコンテンツを配信できるようになれば派生ビジネスが

成果のまとめ

- 高齢者の収入を確保
 - 新しいお金の循環
- 子育てにおける疑問解決。子供の成長欲求に応えられる環境の構築
 - おじいちゃんの知恵
- 子供の自主性尊重と、安全のための監視環境の両立
 - エマージェンシーボタン等

実現課題

- 普及過程

コンテンツが双方向型のため、はじめに参加する老人をどう集めるかが問題

→リアルタイム通信の偶然性に依拠するため

- 端末、ネットワークの維持費

- 設置費用、製作費用

- 人件費、店の固定費



将来性

- 三世代、同世代の関係を密にする
→ より便利に